

もっとよんでみる？

リストの下にいくほど、よみごたえがあります
 (★) マークはシリーズがある本です

	ほんのだいめい	かいたひと	しゅっぱんしゃ
にほんのものがたり	ケンガイにっ!	高森 美由紀/作 加藤 休三/絵	フレーベル館
	ハッピーノート	草野 たき/作 ともこエヴァーソン/画	福音館書店
	満月のさじかげん	樫崎 茜/著	講談社
	モコモコちゃん家出する (★)	角野 栄子/文 にしかわ おさむ/絵	クレヨンハウス
	りかさん	梨木 香歩/作	偕成社
がらくのものがたり	おじいちゃんの口笛	ウルフ スタルク/作 アンナ ヘグルンド/絵 菱木 晃子/訳	ほるぷ出版
	カルペパー一家のおはなし	マリオン アピントン/作 ルイス スロボドキン/絵 清水 眞砂子/訳	瑞雲舎
	口ひげが世界をすくう?!	ザラ ミヒャエラ オルロフスキー/作 ミヒャエル ローハー/絵 若松 宣子/訳	岩波書店
	ぐらぐらの歯 (★)	ドロシー エドワーズ/さく 渡辺 茂男/やく 酒井 駒子/え	福音館書店
	そばかすイエシ (★)	ミリヤム プレスラー/作 斎藤 尚子/訳 山西 ゲンイチ/絵	徳間書店
	たんけんクラブ シークレット・スリー	ミルドレッド マイリック/ぶん アーノルド ローベル/え 小宮 由/やく	大日本図書
	ぺちゃんこスタンレー	ジェフ ブラウン/文 トミー ウンゲラー/絵 さくま ゆみこ/訳	あすなろ書房
	ぼくたち負け組クラブ	アンドリュウ クレメンツ/著 田中 奈津子/訳	講談社
	マウスさん一家とライオン	ジェームズ ドーハティ/作 安藤 紀子/訳	ロクリン社
	ワンダー (★)	R.J.パラシオ/作 中井 はるの/訳	ほるぷ出版



『うちどくりスト あたらしいものがたり』

平成31年3月31日 発行

編集：小郡市立図書館

<http://www.library-ogori.jp/>

〒838-0142 福岡県小郡市大板井136-1

電話：0942-72-4319

うちどくりスト あたらしいものがたり



この30年で出版された オススメものがたりのリスト

保護者の方へ

「家読（うちどく）」は「家庭での読書」の略語で、「朝読」（朝の読書の略）の家庭版として考えられたものです。家族で読書の習慣を共有し、本を介した家族間のコミュニケーションがはかれることを目的としています。

また、家庭でも本と親しむ時間もたれることは、子どもの成長にとって大切な読書の習慣を身につけることにつながります。「家読（うちどく）」に、これといった決まりはありません。それぞれの家庭にあった方法で取り組んでください。

読解力が十分に育っていない子どもには、まわりの大人が読んであげることが、本を楽しむ一番の近道ですが、まずは、気軽に取り組めることから始めてみましょう。

小郡市立図書館

ていがくねんむけ

「あるひあひるが あるいていると」 (★)



理論社

二宮 由紀子／作
高島 純／絵

“あ”から始まる言葉だけ
“い”から始まる言葉だけと
いうようにはなしができて
います。どんなおはなしに
なっているかな。

「カテリネッラとおにの フライパン」

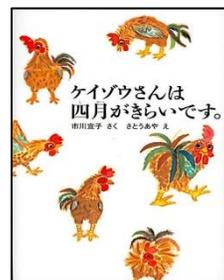


こぐま社

剣持 弘子／訳
晶子／絵
再話

鬼にフライパンを借りるかわりに
ドーナツをあげる約束をした
カテリネッラですが、返す
途中でドーナツをたべてしま
い……。

「ケイツウさんは四月が きれいです。」 (★)

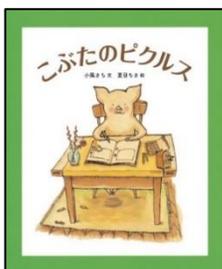


福音館書店

市川 宣子／さく
さと う あや／え

幼稚園に暮らすにわたりのケ
イツウさん。4月はなまいき
なウサギがやってきて、なに
かと気に入くれないことばかり。

「こぶたのピクルス」 (★)



福音館書店

小風 さち／文
夏目 ちさ／絵

お使いに行ったり、困った人
を助けたりするけど、失敗も
あります。でも、いつも元気
いっぱいこぶたのピクルス
です。

「ざりがにのおうさま まっかちん」

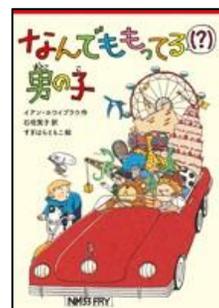


福音館書店

おおとも やすお／さく

幼稚園ではみんなでざりがに
釣りをするけれど、のびみは
一度もつれたことがありませ
ん。

「なんでももってる (?) 男の子」

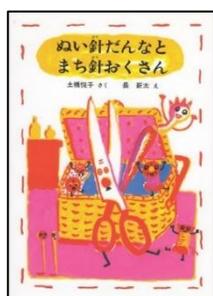


石垣 賀子／訳
徳間書店

イアン ホワイブラウ／作
すぎはら ともこ／絵

欲しいものはなんでも持って
るフライは何が欲しいのか分
からなくなり、人をうらやま
しがらせることにします。

「ぬい針だんなと まち針おくさん」

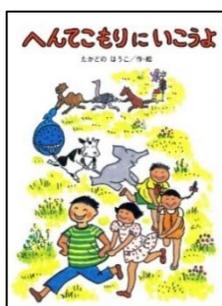


福音館書店

土橋 悦子／さく
長 新太／文

ぬい針とまち針の仲良し夫婦。
ぬい針だんなが足をすべらせ
まっさかさま。

「へんてこもりに いこうよ」 (★)



偕成社

たかどの ほうこん／作
絵

どうぶつしりとりをしていて
「まるぼ！」とありもしない
名前を言ったら、ガサガサと
物音がして。

「ぼくらのウソテレビ」



くもん出版

ねじめ 正一／作
武田 美穂／画

テレビが貴重だった時代、
「テレビがある」と僕はウソ
をつけてしまいます。

こうがくねんむけ

「うそつきにかんぱい!」 (★)



童心社

宮川 ひろ／作
小泉 るみ子／絵

おかしいことを言うようになった大ばあちゃん。話を合わせようとすると、ウソをつくことになってしまいます。

「歌うねずみウルフ」

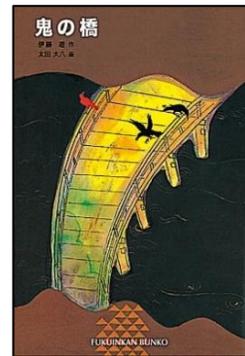


三原泉／訳
偕成社

デイツク キングリスミス／作
杉田 比呂美／絵

歌うねずみウルフ GANG・ア・マウス・モーツァルトと友達になりたいと思った元ピアニストの老夫婦は・・・。

「鬼の橋」



福音館書店

伊藤遊／作 太田 大八／画

昼間は都のえらいお役人、夜は地獄でえんま大王の右腕として働いていたという伝説がある小野篁の少年時代の物語。

「かあちゃん取扱説明書」



童心社

いとう みく／作
佐藤 真紀子／絵

ガミガミとうるさいかあちゃん。でも、とうちゃんいわく機嫌をよくするための扱い方があるらしい。

「ジュディ・モードは ごきげんななめ」 (★)



小峰書店

メーガン マクドナルド／作
ピーター レイノルズ／絵

毎日元気なジュディ。けれど新学期一日目の今日は朝から「ごきげんななめ」モードなのです。

「すみれちゃん」 (★)



偕成社

石井 睦美／作 黒井 健／絵

4月に生まれたから「すみれ」なんて、おしゃれじゃないと気に入らないすみれちゃん。名前の由来を聞くと。

「のんきなりゅう」



徳間書店

ケネス グレアム／作
インガムーア／絵

こころやさしいりゅう。ある日、何も知らない騎士がりゅう退治にやってきます。

「バイバイ、 わたしの9さい!」



文研出版

ヴァレリー ゼナッティ／作
ささめや ゆき／絵

もうすぐ10才になるわたしは新聞で「世界では4秒に1人が飢え死にしている」ことを知ってしまいます。

「ハンサム・ガール」



理論社

佐藤 多佳子／作
伊藤 重夫／画

二葉の家はお母さんが働いて、お父さんは専業主夫。二葉は野球が大好きで男の子の野球チームに入ります。